

【運転・定検状況（区分）】

平成 17 年 6 月 27 日

定期検査中の 1 号機原子炉建屋内での溢水について

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

定期検査中の 1 号機において、平成 17 年 6 月 24 日午後 3 時 56 分頃、原子炉建屋地下 1 階にある燃料プール冷却浄化系プリコートポンプ・タンク室内で、当直員が燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器への樹脂のプリコート操作*の準備を実施していたところ、プリコートタンクのオーバーフローラインを通してファンネル（排水受け容器）に排水された水が一時的にファンネルの蓋より床に溢れているのを発見しました。

溢れた水はすべて室内の堰内にとどまっており、漏えい量は約 6 リットル、放射エネルギーは約 3.6×10^3 ベクレルで、拭き取りにより回収、処理しました。

原因は、ろ過脱塩器まわりの系統に水を循環させたところ、配管内に残っていた空気の影響によりプリコートタンク内の水位が変動し、一時的にまとまった量の排水がオーバーフローラインに流入したため、ファンネルより溢水したものと推定しております。

なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

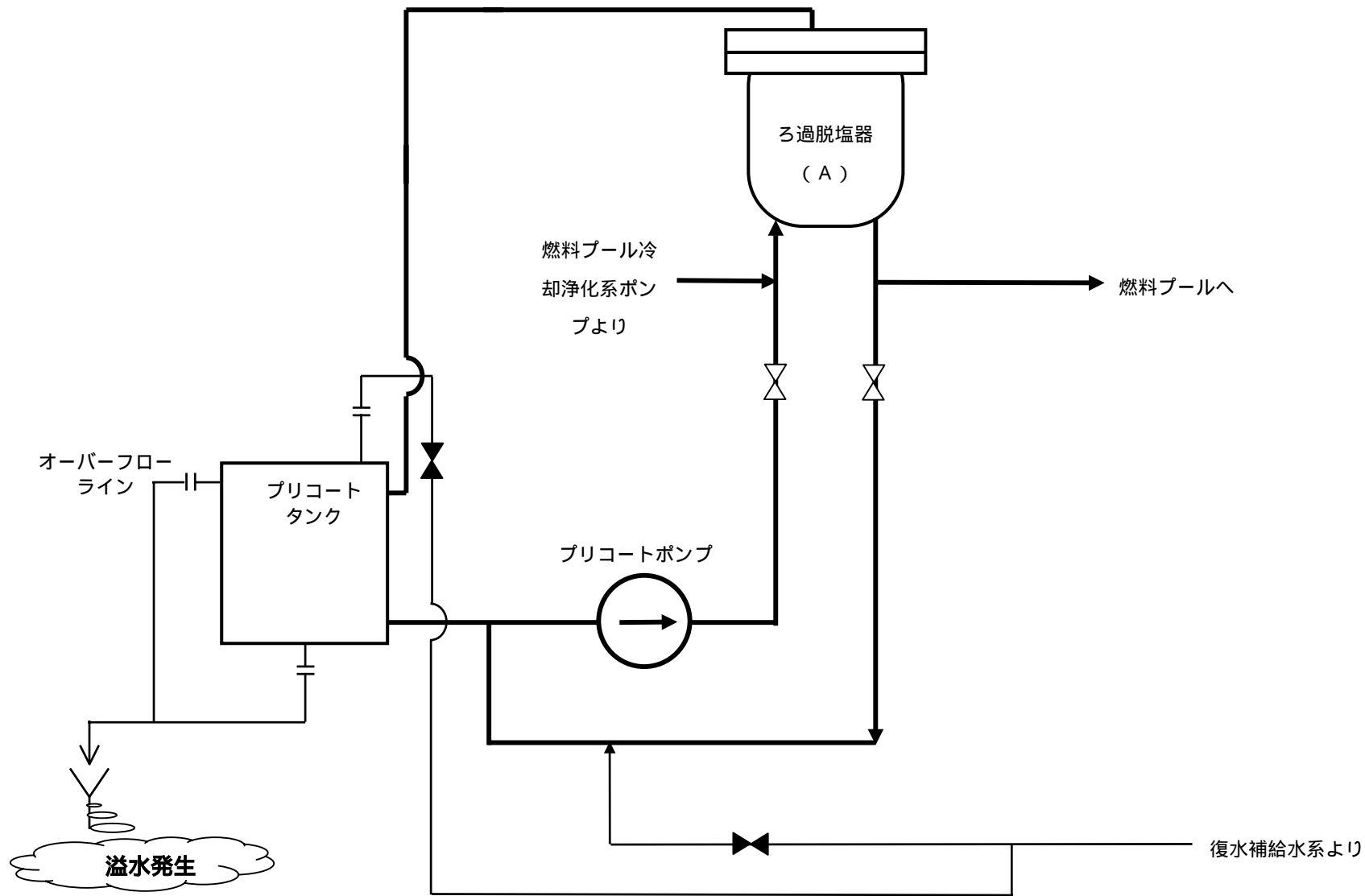
* : 燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器への樹脂のプリコート操作

燃料プールの水に含まれる鉄さびや放射性物質を除去するために使用している、ろ過脱塩器のフィルターに樹脂をコーティング（塗布）する操作。

今回は、樹脂を入れる前の準備作業として、ろ過脱塩器および系統の水張りを実施中でした。

本件は「不適合事象の公表基準」に従い、区分 の事象として、発生した不適合事象を翌営業日に取りまとめて公表しているものです。

（不適合事象の公表基準：<http://www.tepco.co.jp/kk-np/nuclear/pdf/kijyun.pdf>）



1号機 燃料プール冷却浄化系 ろ過脱塩器 系統概略図